

歴史総合、日本史探究

- 【I】 「歴史総合」の授業で、青山さんと馬場さんは「日本の産業革命」というテーマを探究し、調べた内容を以下のようなノートにまとめた。これに関し、以下の設問に答えなさい。

〔日本の産業革命〕

○ 明治維新後の新技術の導入

〔できごと〕

- ・ 明治維新後、欧米の先進的な技術を導入するため、政府が外国人の技術者・学者(お雇い外国人)を雇用して官営事業による殖産興業を進めた。
- ・ 1871年には次のようなことが行われた。

X を定めて洋式の金貨・銀貨の製造を開始した。

前島密の建議により郵便制度が発足した。

官営模範工場として富岡製糸場が設立された。

①

〔背景・影響〕

- ・ 明治政府は富国強兵を目指して欧米の技術の導入による殖産興業に力を入れた。
- ・ 欧米技術の導入は、なかば外交上の課題としてとらえられ、欧米各国から整備の要求や投資の申し出があった分野を中心におこなわれた。

○ 日本の産業革命

〔できごと〕

- ・ 1881年に松方正義が大蔵卿に就任し、1882年に Y が設立された。
- ・ 1883年に渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社が大阪に大規模な工場を開業した。
- ・ 1897年に八幡製鉄所が設立された。
- ・ 1906年に鉄道国有法が定められた。

②

〔背景・影響〕

- ・ 松方正義は官営事業の整理を進めて財政緊縮を実施した。
- ・ 松方財政のもとで貨幣制度が安定したことにより、1886年から株式会社の設立が盛んになり(最初の企業勃興)^③、日本における産業革命が始まった。
- ・ 当初は軽工業中心だったが、しだいに鉄鋼業や造船業などの重工業も発展した。^④
- ・ 日清戦争後には鉄道や紡績などの産業で再び企業勃興がおこった。

設 問

1. ノート中の空欄 には語句 a か b, 空欄 には語句 c か d のいずれかが当てはまる。空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢から 1 つ選び、その記号をマークしなさい。

Xに当てはまる語句

- a. 新貨条例
- b. 貨幣法

Yに当てはまる語句

- c. 国立銀行
- d. 日本銀行

- ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

2. 資料1は下線部①の富岡製糸場の内部を描いたものである。青山さんと馬場さんはこの絵を見ながら産業革命について話している。会話文の中の空欄 X に入るものとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 2

[資料1] 富岡製糸場の内部

著作権の都合により掲載いたしません。

青山さん：欧米の産業革命は18世紀末のイギリスの綿織物、つまり軽工業から始まったけれど、日本でも軽工業から始まったの？

馬場さん：うん。日本では明治維新後に輸出の中心だった生糸の生産拡大にまず力を入れて、製糸・紡績の産業で官営模範工場を設けて殖産興業を進めたんだよ。

青山さん：官営模範工場というと富岡製糸場が有名だよな。

馬場さん：綿花の栽培や綿糸・綿織物の生産はイギリス製綿製品の輸入が拡大して一時期は衰退したけれど、輸入綿糸を用いたり紡績機械を輸入するようになって機械制生産が広まり、日本の産業革命の中心となったんだよ。

青山さん：この資料を見ると多くの女性が働いているのがわかるね。

馬場さん：そうだね。 X

青山さん：イギリスの紡績工場を描いた絵でも女性と子どもが多く描かれているから、どこでも同じなんだね。

- ア. 士族の子女が花嫁修業として手紡による綿糸生産の技術を学ぶために全国から働きに来ていたんだよ。
- イ. 江戸時代は職人が麻や木綿などの織物の生産をおこなっていて、業種ごとに仲間や組合をつくっていたから女性はできなかったけれど、明治維新後は仲間や組合が解体されて女性も従事できるようになったんだよ。
- ウ. 男性よりも低い賃金の女性労働者を多く雇い入れて工女として養成したんだよ。
- エ. 明治維新によって女性の社会進出が進んでいくなかで、特に新しい産業では多くの女性が活躍していたんだよ。

3. 下線部②に関連して、鉄道網が全国に拡大していく過程に関する記述として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

- ア. 鉄道事業は民営の鉄道会社の参入が盛んで、1889年には民営鉄道の営業キロ数が官営鉄道の営業キロ数を上回った。
- イ. 政府は民営の鉄道会社を補助したが、民営の中小の鉄道会社の倒産が相次いだため鉄道国有法を定めて経営不振の中小の鉄道会社を買収した。
- ウ. 軍事面での必要性から明治政府は全国的な鉄道網の実現を目指し、日清戦争までに東北から九州まで官営鉄道で結ばれており、日清戦争で大いに活用された。
- エ. 民営鉄道の拡大を警戒した政府は半官半民の日本鉄道会社を設立して民営鉄道と競争させたが、競争が過熱したため、鉄道国有法で競争の鎮静化をはかった。

4. 下線部③に関連して、松方財政の時期の貨幣制度に関する記述として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4

ア. 当初は主に国内で流通していた銀貨の信用が高かったことから銀兌換紙幣が発行されていたが、日清戦争の賠償金を利用して金本位制を確立した。

イ. 国際的な銀の価値の低下により紙幣の価格と銀貨の価格が近づいたため銀兌換の紙幣を発行し、日清戦争後に金本位制に移行した。

ウ. 欧米の技術を導入して金鉱山の産出量が増加したため、金兌換の紙幣を発行した。

エ. 松方正義の財政政策によりデフレが進んだため、銀貨や金貨に比べて紙幣の価値が下がり、兌換紙幣を安定して発行できるようになった。

5. 下線部④に関連して、青山さんと馬場さんは「重工業と労働運動」について調べ、それぞれ調べたことについて会話している。次の会話文中の空欄 には後の記述aかb, 空欄 にはcかd, のいずれかが当てはまる。空欄 ・ に当てはまるものの組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

青山さん:1870年代は世界的にみると第2次産業革命の時期で、重化学工業や電機工業が登場したけど、日本ではどうだったのかな？

馬場さん:日本では、重工業や鉱工業は当初は官営事業で進められて、1884年頃から とよばれる政府関係者とつながりのある有力な事業者に払い下げられたんだよ。

青山さん: の代表例は海運業の岩崎弥太郎だよね。

馬場さん:そうだね。岩崎弥太郎が作った三菱は長崎造船所や佐渡金山などの払い下げを受けて発展していったよ。でも重工業の中でも特に鉄鋼は大規模な製鉄所が必要だったから、なかなか民間の力では難しくて、1897年に官営の八幡製鉄所が設立されることになったんだ。

青山さん:軍備の拡充のためにも重工業、とくに材料である鉄鋼が国内で生産できるようにすることは重要だから、政府も力を入れたんだね。ところで産業革命が進んで工場制工業が盛んになると、人々の仕事や暮らしも変わるよね？

馬場さん:うん。産業革命によって工場労働者が増えたよね。

青山さん:産業革命が日本よりも早く進んだ欧米では、資本家と労働者との間の格差は19世紀半ば頃にはもう大きな問題となっていて、労働組合が結成されたりストライキが行われるようになってきたけれど、日本ではどうだったのかな？

馬場さん:日本でも工場制工業が発展するにつれて長時間労働や低賃金の問題が出てきて、日清戦争の頃には待遇改善や賃金引き上げを要求する工場労働者の

ストライキが始まり、1897年には□Yが結成されたんだ。

青山さん:世界でも日本でも同じような問題が起きるんだね。勉強になるなあ。

Xに当てはまる語句

- a. 華族
- b. 政商

Yに当てはまる語句

- c. 友愛会
- d. 労働組合期成会

ア. X-a, Y-c イ. X-a, Y-d ウ. X-b, Y-c エ. X-b, Y-d

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

710年、日本の都は〔6〕に定められ、律令制に基づく国家体制の確立が進められた。藤原不比等は律令の制定に大きく関与し、娘の宮子を文武天皇に、光明子を聖武天皇に嫁がせることで、天皇家との結びつきを密にした。不比等が720年に死去した後、729年には、天武天皇の孫に当たる有力な皇族が謀反の疑いをかけられて自殺に追い込まれる〔7〕が起こり、不比等の息子達が皇族の勢力を抑え込む契機となった。

737年には〔8〕の流行により不比等の息子達が相次いで病死し、藤原氏の勢力は一時的に後退し、代わって橘諸兄が政権の中樞を担った。しかし九州で大規模な反乱が起こり、これが鎮圧された後も政治は不安定な状態が続いた。聖武天皇は社会不安や疫病の流行を受け、仏教による国家鎮護の思想を強く信仰し、国分寺の建立や〔9〕を命じるなど、仏教に依拠した統治を推し進めた。

その後、光明皇后の親族である〔10〕が政権を掌握したが、皇位継承を巡る対立や、仏教勢力との結びつきを強めた道鏡の台頭などにより、政争が頻発した。〔10〕は764年に乱を起こしたが孝謙上皇側に滅ぼされ、孝謙上皇が重祚して称徳天皇となって道鏡が権勢を振るった。しかし770年に称徳天皇が崩御すると後ろ盾を失った道鏡は失脚した。

こうした動揺を経て、天武天皇系の皇統に代わって天智天皇系の光仁天皇が即位し、さらに光仁天皇の子である桓武天皇は、奈良時代末期の政治的混乱と仏教勢力の影響を排除し、天皇中心の強力な中央集権国家を再構築するため、大規模な政治改革に着手した。

まず、桓武天皇は仏教政治の弊害を改め天皇権力を強化するため、784年に山背国の長岡京へ遷都し、その10年後の794年には現在の京都へと再遷都を行った。

桓武天皇は財政再建にも力を入れ、律令制の根幹である班田収授法の運用の改革をおこなった。租庸調を確実に徴収するため、班田収授が困難になっていた状況の改善を図った。①また、農民の負担を軽減するため、公出挙の利率を5割から3割に下げ、雑徭の期間も年間60日から30日に短縮した。しかし他方で、桓武天皇は東北地方で蝦夷との戦いを③進め、都の造営と東北での戦いは国家財政や民衆にとって大きな負担となった。

また、仏教政策においては、奈良の大寺院の勢力から離れるため、最澄や空海といった新しい仏教を支援し、平安京の鎮護を担わせた。

- ④ 桓武天皇がすすめたこれらの改革は、天皇の権威を再確立し、律令国家体制の立て直しを図るためのものであったが、同時に地方の実情と中央の政策のずれなど、後の時代にも^⑤続く課題を残すことにもなった。

設 問

1. 文中の□6～□10に当てはまる語句として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

□6 ア. 平城京 イ. 平安京 ウ. 恭仁京 エ. 藤原京

□7 ア. 平政門の乱 イ. 長屋王の変 ウ. 恵美押勝の乱 エ. 承和の変

□8 ア. 結核 イ. 天然痘 ウ. コレラ エ. ペスト

□9 ア. 法勝寺の造営 イ. 六勝寺の建立
ウ. 東大寺の大仏造立 エ. 比叡山の開山

□10 ア. 藤原百川 イ. 藤原種継 ウ. 藤原広嗣 エ. 藤原仲麻呂

2. 下線部①の租庸調に関する説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。□11

ア. 調は都での労役の代わりに布などを納め、庸は絹・布や地域の特産品を納める人頭税であった。

イ. 庸は土地の広さに応じて課される税で、調は地方での労役であった。

ウ. 租庸調は全て米で納められ、都に輸送する義務は全て国家が負担した。

エ. 租は口分田などから収穫の約3%の稲を納める田地にかかる税であった。

3. 下線部②に関連して、桓武天皇がこの状況を改善するためにおこなった施策として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

- ア. 開墾した土地の永年私有を認める墾田永年私財法を発し、開墾を推奨した。
- イ. 大寺院が一般農民や浮浪人を使用して大規模な原野の開墾をおこなうことを認めた。
- ウ. 12年に1回であった班田の期間を6年に1回に改めることにより、一般農民を豊かにしようとした。
- エ. 6年に1回であった班田の期間を12年に1回に改める一紀一班制を導入し、事務の簡略化と農民が耕作できる期間の延長を図った。

4. 下線部③の東北での戦いに関する記述として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

- ア. 豪族である伊治皆麻呂を征夷大使として大軍を進めたが、蝦夷の族長阿弭流為に大敗した。
- イ. 坂上田村麻呂を征夷大將軍とし、胆沢城、志波城を築いて東北経営の前進拠点とした。
- ウ. 多賀城を築いて東北地方の拠点とし、胆沢城から多賀城に鎮守府を移した。
- エ. 紀古佐美を征夷大將軍として大軍を派遣し、阿弭流為を服属させた。

5. 下線部④の新しい仏教の組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

- ア. 天台宗・真言宗
- イ. 法相宗・華嚴宗
- ウ. 浄土宗・浄土真宗
- エ. 臨済宗・曹洞宗

6. 下線部⑤の後の時代にも続く課題の例として適切でないものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

- ア. 平安時代中期以降、租調庸といった従来の税金による国家財政の維持が極めて難しくなった。このような状況下で、中央から派遣された国司の最上席者である受領は、有力農民(田堵)に耕作を請け負わせる形で税を徴収したが、その過程で不正や過酷な徴税が問題視される事例も発生した。
- イ. 律令体制の形骸化が進む中で、土地の支配形態も大きく変化していった。国衙からの干渉を避けるため、開発領主は自らの所領を貴族や大寺社に寄進する動きを強め、その権威を背景に官物や臨時雑役の免除(不輸)や、国衙の使者の立ち入りを認めない(不入)といった特権を持つ荘園が急増した。
- ウ. 平安時代中期以降も、中央政府は律令体制に基づく全国的な土地・人民支配を盤石に維持し続け、国家の財政基盤は比較的安定していた。しかしながら、中央から派遣される国司の下役を、在庁官人として担うようになった地方豪族が各地で反乱を起こし、中央政府はこれを鎮圧することができずに各地の独立勢力として認めるしかなかった。
- エ. 9世紀末から10世紀にかけて地方政治が大きく変化していく中で、土着した国司の子孫や地方豪族は、自らの勢力を維持・拡大するために武装化を進め、やがて平将門の乱や藤原純友の乱といった大規模な反乱を引き起こし、その鎮圧を通じて武士の実力が急速に高まった。朝廷や貴族は、こうした武士を侍として都の警備や盗賊の追捕に当たらせるなどして、治安維持を図らざるをえなかった。

【Ⅲ】「鎌倉時代から戦国時代にかけての日本の経済」に関する以下の設問に答えなさい。

設 問

1. 鎌倉時代以降、遠隔地貿易が発展する中で活躍した、商品の委託販売や輸送などを行った業者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 引付 イ. 貸上 ウ. 問丸 エ. 地頭

2. 室町時代、第4代将軍足利義持が中断した日明貿易を再開し、勘合を用いた貿易を行った第6代将軍の名前として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 足利義教 イ. 足利義政 ウ. 足利義満 エ. 足利義昭

3. 室町時代に天皇の即位や幕府の行事を行う際に課せられた、田の面積に応じて徴収する臨時税として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 津料 イ. 段銭 ウ. 土倉役 エ. 関銭

4. 室町時代に、国内の荘園や公領の年貢の半分を守護が軍費として徴収する権限を認めた令の名称として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 徳政令 イ. 半済令 ウ. 撰銭令 エ. 棄損令

5. 室町時代における日本と朝鮮半島との貿易において、日本が輸入した主な品物として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 20

ア. 三味線 イ. 銅 ウ. 木綿 エ. 刀剣

6. 15世紀に三山を統一し、明との朝貢貿易をはじめとして、日本を含む東アジアの国々と貿易を展開した琉球王国の建国者として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 21

ア. 尚泰 イ. 李成桂 ウ. 蠣崎季繁 エ. 尚巴志

7. 室町時代に明から輸入され、日本国内に流通した貨幣として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 22

ア. 和同開珎 イ. 永楽通宝 ウ. 寛永通宝 エ. 天正大判

8. 室町時代、幕府の直轄地として各地に設置され、奉公衆によって管理された領地として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 23

ア. 御料所 イ. 惣 ウ. 門前町 エ. 藩

9. 戦国時代に普及した、土地の収入を銭に換算し、軍役等と引き換えに家臣の収入を保障する制度として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 24

ア. 貫高制 イ. 惣領制 ウ. 石高制 エ. 条里制

10. 戦国時代に発展した自治都市のうち、界の説明として適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 25

- ア. 平安末期には大輪田泊と呼ばれ平氏による日宋貿易の拠点であり、中世では西国物産の中継地となった港町である。
- イ. 伊勢湾の水陸交通の要地として栄え、鎌倉時代から海運を通して伊勢神宮との深い関係をもった港町である。
- ウ. 「年行事」と呼ばれる12人の豪商の合議によって市政が運営されていた港町である。
- エ. 「会合衆」と呼ばれる36人の豪商を中心として市政が運営されていた港町である。

(問題終わり)